全東京写真連盟

撮影会写真コンクール

入賞作品集

審査対象 上野公園コスプレ撮影会

撮影日 2022年01月23日

審査日 2022年03月13日

審査員:HARUKI先生

金賞
「制服の思い出」
荒井　秀雄 様
モデル　山口由恵

審査員:HARUKI先生 講評

「制服」という物体が持つイメージはどんな種類の人が着るのか？によって様々ですが、やはり学生服（男女ともに）というジャンルにはほとんどの方が過ぎ去った青春を思い出す要素が強いんじゃないでしょうか。その中でも女子学生の「制服」はいつの時代にも絵になる不思議な存在です。見る人それぞれの持っている思い出からイメージされるのですが過去へとタイプスリップさせてくれますねえ。流れる髪の毛から待ち合わせにやってきて振り返ったような瞬間を思い起こします。このカットにはシンプルに直球勝負した作者の素直な意図を感じます。モデルさんの頭部と背景の樹木の幹との間がもう少し離れていたら金賞ではなくプラチナ賞でした（笑）

銀賞
「赤ずきん様ご光臨」
寺島　弘行 様
モデル　アビラ凜

審査員:HARUKI先生 講評

筆者の知識不足ですがいわゆる昔ながらの童話に登場する「赤ずきん」には見えないので、もしかしたら特定のキャラクターかもしれないですが、いい意味で「赤ずきんのコスプレ」というよりは赤と黒の組合せのシックな印象の衣装に見えます。そして160㎜相当の望遠レンズでの圧縮効果と周囲を焼き込んで背景をシンプルに処理したことによって写真館で撮影したかのような印象に仕上がりました。衣装と唇の赤と黒、ヘアーの金、そして手に持つ花の白。これらの少ない色の種類の組み合わせと、モデルさんの白い肌をより一層際立たせて高級感あるシックな１枚になりました☆

銅賞
「キュンです！」
星野　祐一 様
モデル　山口由恵

審査員:HARUKI先生 講評

この圧倒的な優しい笑顔に作者は「キュン！」とされたのでしょうネ。金賞作品と同じモデルさんみたいですが、あちらでは「女学生」を演じていましたが、こちらは「メイド」への変身です。どちらもとてもよくお似合いです。今回の撮影会が行われた場所は筆者も何度か訪れてよく知っているのですが、下手をすれば猥雑になりがちなのですがなるべくシンプルな場所を背景に選んだうえで明るい中望遠レンズの開放絞りでボカしたことでモデルさんだけに視線を集められました。ちょっと斜めに切り撮ったのもキュンときました（笑）

入選
「Dearest」
門間　正之 様
モデル　彩乃美希

入選
「キャットアイ」
中山　昌幸 様
モデル　髙畠祈莉

入選
「視線」
中山　静男 様
モデル　夏山りか

入選
「可愛いコスプレーヤー」
松岡　達雄 様
モデル　髙畠祈莉

入選
「みやびやか」
小野寺　基之 様
モデル　彩

佳作
「アラビアの姫」
深野　武雄 様
モデル　夏山りか

佳作
「宛名の無い招待状」
小倉　良二 様
モデル　アビラ凜

佳作
「青春」
髙橋　壯太 様
モデル　山口由恵

佳作
「卒業だね」
斎藤　貴生 様
モデル　山口由恵

佳作
「セクシーメイド」
田沼　靖信 様
モデル　山口由恵

佳作
「視線」
内藤　勝之 様
モデル　堀口桜子

佳作
「アリスのように」
佐久間　裕史 様
モデル　刹菜

佳作
「メイドさんのハート」
北条　善久 様
モデル　山口由恵

佳作
「ニャーオ」
矢島　彰 様
モデル　髙畠祈莉

佳作
「祈り」
山本　和也 様
モデル　夏山りか

次点
「小動物的娘」
堤　博史 様
モデル　彩乃美希

次点
「指拳銃のほほ笑み」
石川　玲 様
モデル　髙畠祈莉

次点
「花売り」
黒坂　友義 様
モデル　刹菜

次点
「チャイナ服がある光景」
高橋　敏之 様
モデル　彩

次点
「想い」
河村　徳助 様
モデル　刹菜

次点
「婦人警官」
米沢　健二 様
モデル　髙畠祈莉

次点
「ふりむけば」
山田　栄一 様
モデル　夏山りか

次点
「光と影の中」
猿田　善和 様
モデル　髙畠祈莉

次点
「少女から大人へ」
井原　亮祐 様
モデル　アビラ凜

次点
「乱舞」
成田　誠宏 様
モデル　夏山りか

【コンテスト審査でのプリントの余白はどうする？】

今回の２つの撮影会審査も力作揃いでした。数年前から審査を担当させていただくようになってから何度もお話ししてきて、全員ではないですがプリントの質も平均的には良くなってきたかと自負しております。プリントされる時に「余白付ける」派と「裁ち落とし」派の方がいらっしゃるかとおもいます。どちらが良いのですか？とよく聞かれますが正解は「どちらでもO K」です（笑）。ただし個人的にはA4サイズでしたら四片の余白5mm～2cmくらいが審査時にプリントの扱い易さもあり無駄もなく、また見た目にもバランスが良いかと思います。ここで「余白」と書きましたが「余黒」にされる方もいらっしゃいますが、額装で展示する場合には効果的ですが審査時に周りが黒だとその分小さく見えるだけでメリットはございませんので余白がオススメです☆

HARUKI